

分野別意見交換会報告書【総務常任委員会】

日 時： 令和4年(2022年)5月12日(木) 午後6時～午後7時51分

場 所： 箕面市役所 本館3階 委員会室

団 体 名： 公益社団法人箕面市シルバー人材センター 10名

出席議員：(委員長) 増田京子 (副委員長) 中井博幸
(委員) 村川真実、堀江 優、田中真由美、中嶋三四郎

傍聴者数： 委員外議員 7名

テーマ：(1)会員の高齢化に伴う新たな就業機会の拡大について

番号	項目	内容
1	高齢化について	<ul style="list-style-type: none">・ 植木^{せんてい}剪定や屋外作業に従事している会員の高齢化が進み作業場所や年間の受注件数を制限せざるを得ない状況である。・ 新規会員の入会も少ないうえに、植木^{せんてい}剪定や除草、清掃といった職種を希望される会員も少ない。
2	オレンジゆずるタクシーのドライバー確保について	<ul style="list-style-type: none">・ 運転業務は75歳までとしている。・ 高齢化が進み、年齢制限を引き上げてはどうかといった意見もあるが、高齢ドライバーの事故が取り上げられることも多く困難である。
3	人材不足について	<ul style="list-style-type: none">・ 現在27名が植木^{せんてい}剪定班として活躍。内3名は研修中であり年間500件程度の受注件数に対応できていない状況にある。・ 高所作業に不安を感じる方が多く、植木^{せんてい}剪定を希望される方は少ない。また、植木^{せんてい}剪定を希望されても3年程度の研修期間が必要である。

テーマ：(2) 女性会員の活躍できる場所の確保について

番号	項目	内容
1	新しい就業先の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務職、内職、施設受付といった職種のさらなる開拓も必要である。 ・ 弁当販売や喫茶事業等の施設確保を検討し実施に向けて模索する。
2	食堂、喫茶事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曜日限定や食事数限定でも良いので事業を始めたい。 ・ 喫茶事業や子ども食堂についてはやる気のある方がいるが、場所確保が難しい。
3	新規の女性会員が求める職種について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務的な職種を希望する方が非常に多い。また、高齢の女性会員は、内職への希望も多く、実際に内職をしている方からは働くのが楽しいといった声も聞いており、生きがいの充実に寄与している。

テーマ：(3) 子ども一時預かり事業の実施場所の確保について

番号	項目	内容
1	ちよこっと保育「あそびー」のみのおサンプラザ建て替えに伴う代替え場所について	<ul style="list-style-type: none"> ・ みのおサンプラザ建て替え中の代替え場所の確保が困難であり、ふれあい就労支援センター1階の作業場を使用する案があるが、施設改修等に多額の費用が必要であり現実的ではない。また、センター1階で行っている作業場を移転した場合の対応も考える必要がある。 ・ 代替え場所は必ずしも駅前である必要はないと思っている。
2	ちよこっと保育「まみーず」の実施場所の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小野原多世代地域交流センターの会議室を使用して実施しているが、開催ごとに「安全マット」を敷くことが、高齢者の負担となっている。
3	子ども一時預かり事業の利用状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前日には利用者数が決定するので、人数に準じて配属人数を決定している。 ・ 需要があるので、開催曜日を増やしたい。
4	保育士について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士は30代～40代の若い方を配置しているが、高齢の保育士と考え方の違いもある。
5	プレイルームの活用について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料開放しているので、プレイルームを使用している子ども一時預かり事業は困難である。 ・ 夏場はクーラーが効いており、利用者数が増加する。 ・ おもちゃ等の買い替えの要望もあるが、無料開放で収入がなく、新しいおもちゃの購入は難しい。

テーマ:(4)適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入に伴うシルバー人材センターへの影響について

番号	項目	内容
1	インボイス導入について	<ul style="list-style-type: none"> 課税事業者は、免税事業者との取引で支払った消費税について、仕入れ税額控除を受けられないため、新たなコストが発生する。 免税事業者は課税事業者になることもできるが、今まで免税されていた消費税を納めることとなり、免税事業者の負担が増える。
2	市からの発注事業数について	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は請負で3億5千万円程度であり、そのうち半分は公共施設の管理等である。
3	財源負担について	<ul style="list-style-type: none"> 公益法人であるシルバー人材センターの運営は、収支相償が原則であり、新たな財源がない。
4	新たに発生するコストについて	<ul style="list-style-type: none"> インボイス制度の導入に伴い、新たに発生するコストは、会員に負担させるのではなく、お客さん負担にするという考え方もあるが、民間の事業者にとって10%の値上げは、特に影響があると考えている。
5	国の動きについて	<ul style="list-style-type: none"> 全国シルバー人材センター事業協会を通して、国に要望をしている。また、各事業所からは、議会に意見書の採択を求めている。(全国的に意見書が採択されており、大阪府では四条畷市で採択されている。)

テーマ:(5)その他

番号	項目	内容
1	SDGsの取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府内でSDGsのロゴの使用が認められているのは箕面市と四条畷市のみ。
2	単価について	<ul style="list-style-type: none"> 植木^{せんてい}剪定班がもっとも高額の作業となるが、最低賃金を考慮し民業圧迫にならない程度に設定している。
3	生きがい対策事業としてのあり方	<ul style="list-style-type: none"> 市の所管が健康福祉部から地域創造部に移るなど、生きがい対策事業から労働事業になりつつあるように感じる。

以上